

湯沢高等学校整備事業 【教室・管理棟】 工事だより

2026年4月発行 No.9



躯体工事から内装工事へ

山の新緑が美しい季節となりました。
4月上旬は、スギ花粉がすぐ隣の山から飛んでくるのでなかなかつらい状況でしたが、最近ピーク時よりも空気が澄んでいるように感じます。

現場では、昨年からはじめた躯体工事がいよいよ大詰めとなり、内装工事が本格スタートしています。

2026.4.23 ドローン撮影写真



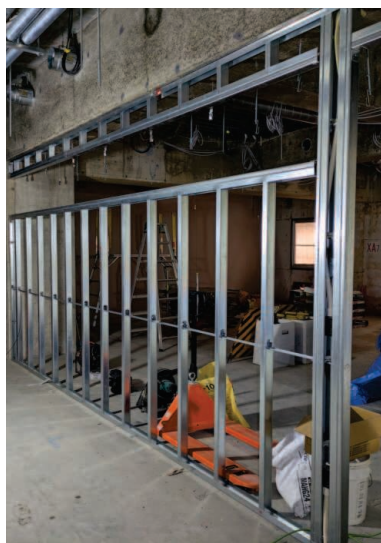
さまざまな内装工事

1. LGS工事

LGSはLight Gauge Steelの略で、ライト（軽い）、ゲージ（規格）、スチール（鉄骨）を意味する軽量鉄骨です。変形しにくく施工性や耐火性に優れていることから、壁や天井の下地となる骨組みに用いられます。また、壁と天井では使用する軽量鉄骨の形状やサイズが変わります。この現場では、壁に50形と65形、内部天井に19形、外部天井に25形を使用しています。それぞれ必要強度に合わせて使用する規格を変えているところがポイントです。



◇ 薄い鉄板なので
簡単に持ち運び可能



◇ 壁のLGSの様子



◇ 天井のLGSの様子

2. ボード工事

ボード工事は、LGSで組んだ骨組みにボードを張る工事です。

ボードを張ると大きな空間が間仕切壁で仕切られるため、より一層完成後をイメージしやすくなります。

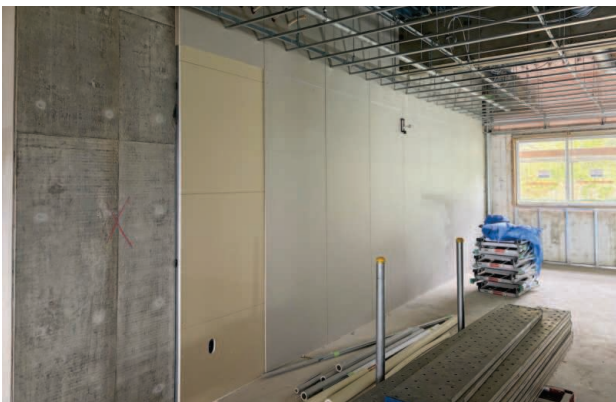
防音性、耐火性、剛性を向上させるために現場の多くの壁で、石膏ボード12.5mm+硬質石膏ボード9.5mmの2枚張りをしています。



☆ LGSにボードを張る途中



☆ トイレ回りはさらに グラスウールを入れて防音



☆ 黄色のボードが1枚目、グレーのボードが2枚目

ここでミニ知識！！

『R階』 … 屋上

『PH階』 … ペントハウス

(屋上へ行くための階段がある所)

『LGS50形』 『ボード12.5mm』

… 50や12.5などの数値=厚み

今後の工事予定

5月 ～ 6月	鉄筋工事、型枠工事 コンクリート工事	鉄筋を組み上げ型枠を設置し、コンクリートを流し込んで建物の躯体をつくります。(R階の躯体工事から、PH階の躯体工事へ)
	内装工事、建具工事	内部の壁をつくり、建具を取り付けます。(2階から3階へ)

お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。

湯沢高等学校整備事業【教室・管理棟】工事 現場事務所

連絡先：0183-55-8137